

## 第4章 森づくりの基本理念と目標像

本基本計画では、森づくりの基本理念と目標像を以下のように定めることとし、この目標を実現するために各種取組を進めていきます。

### － 森づくりの基本理念 －

## 「みんなで取り組む・村上の持続可能な森づくり」

### <3つの目標像>

目標1：森林資源の循環利用と林業の成長産業化の両立

目標2：持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業

目標3：村上の魅力あふれる「もり」×「林業」×「ひと」づくり！

### 目標1 森林資源の循環利用と林業の成長産業化の両立

本市は県内でも最も林業が盛んな地域であり、本地域の篤林家たちによって早くから素材生産が盛んに行われてきました。一方、昨今では林業にかかわる働き手が減少傾向にあり、手入れが行き届いていない森林が増加していることなど様々な問題が顕在化しています。

先人たちが植栽し、大きく育った木々からなる森林を守り、そして村上の木を利用しながら森林を将来世代に引き継いでいくためには、森林資源を循環利用しながら、村上の林業をこれまで以上に活性化することが必要不可欠です。そのため「森林資源の循環利用と林業の成長産業化の両立」を本計画における目標の1つとして様々な取組を実行していきます。

### 目標2 持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業

近年、持続可能な開発目標(SDGs)への関心が社会的に高まりをみせています。SDGsには17の目標があり、森林・林業・木材産業に関係する様々な目標が含まれています。今後、「村上の持続可能な森づくり」を進めていく上でもSDGsに貢献することが期待されていることから、本計画では「持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業」を目標の1つとします。

また、わが国では2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を政策目標に掲げていることから、本市も建物等の木造化・木質化、カーボン・ニュートラルな再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利用等によって脱炭素社会の実現に向けた取組を進めていきます。

### 目標3 村上の魅力あふれる「もり」×「林業」×「ひと」づくり！

大切な地域の資源である森林を将来にわたって守り、育て、利用していくためには、関係者・関係機関の皆様とこれまで以上に連携し、地域一体となった取組を継続することが必要です。

そこで市内の森林や林業、木材産業に関わる方々「みんな」が主役となった魅力あふれる林業地域づくりを進めるための目標像として「村上の魅力あふれる「もり」×「林業」×「ひと」づくり！」を掲げて、村上らしい森づくりを推進します。

## 森林の循環利用とSDGs との関係について

SDGs は「持続可能な開発目標」と訳され、気候変動や自然災害等の課題が世界各地で深刻になる中で、近年関心が高まっています。

森林・林業・木材産業は、このSDGs の達成に大いに貢献しています。

我が国の国土の3分の2を占める森林は、水を育む、気候変動を緩和する、山地災害を防止するなどの多面的機能を持っており、この多面的機能の発揮が様々なSDGs に貢献しています。

さらに、森林を利用するという行為が様々なSDGs に貢献し、そこから生み出される恵みを森林の整備・保全に還元させることで持続可能な大きな循環を作り出すことが重要です。

林業・木材産業事業者だけでなく、様々な方々のSDGs との関わり方に対する理解がより一層深まり、新たな取組が広がることが期待されています。



森林の循環利用とSDGs との関係 (出典：林野庁)